

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 943 号	氏名	武岡 敦之
学位審査委員	主 査	中尾 一彦	
	副 査	川上 純	
	副 査	前田 隆浩	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、メタボリック症候群のリスクとして、ヘリコバクター・ピロリ (H. pylori) 関連胃炎の関与を検討しており、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 職員健診受診者 1,044 人を対象とし、National Cholesterol Education Program' s Adult Treatment Panel III 基準により 62 人をメタボリック症候群と診断し、H. pylori IgG 陽性者 (247 名) の抗体価で感染強度を、血清ペプシノゲン (PG) I 値と PGI/II 比で萎縮性胃炎の程度を評価し、メタボリック症候群と H. pylori 関連胃炎との関係を統計学的に解析しており、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 萎縮性胃炎の存在はメタボリック症候群の有意なリスク因子であった。一方、H. pylori 感染の有無でメタボリック症候群のリスクに差はなかったが、抗体価による H. pylori 感染強度で比較すると、低感染群のメタボリック症候群のリスクは中等度感染群・高感染群のみならず非感染群より有意に低かった。このことは、H. pylori の感染そのものよりも、H. pylori 感染量や惹起される胃炎の存在がメタボリック症候群と関連することを示唆する新たな知見であり、本研究の意義は極めて高いと考える。</p>			
<p>以上のように本論文は、H. pylori 関連胃炎とメタボリック症候群の相関ならびに病態の把握に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			